



■ 長崎がんばらんば国体 トピックス

セーリング競技・自転車競技 競技別総合優勝!!

セーリング競技・自転車競技が、今大会初の競技別総合優勝を果たしました。セーリング競技では、成年女子セーリングスピリッツ級で昨年の東京国体に続き優勝し、2連覇を達成したほか、成年種別で全種目入賞を達成し、少年男子も好成績を収めることができました。

自転車競技では、成年、少年ともに多くの種目で上位入賞し、総合優勝を勝ち取りました。

また、レスリング競技で阪部創選手(神奈川大学)が優勝、テニス競技成年男子の長尾・奥ペアが和歌山県勢として初優勝を達成するなど、多くの競技で好成績を収めました。

入賞おめでとうございます!!



●セーリング競技

成年男子	470級	市野 直毅(和歌山セーリングクラブ)	3位(18点)
		大矢 勇輝(県立桐蔭高等学校)	4位(5点)
	国体シングルハンダー級	谷口 齊謙(株式会社島精機製作所)	3位(6点)
	国体ウインドサーフィン級	尾川 潤(株式会社島精機製作所)	4位(5点)
成年女子	国体ウインドサーフィン級	小島 真理子(和歌山県教育庁)	1位(24点)
	セーリングスピリッツ級	宮川 恵子(和歌山セーリングクラブ)	4位(5点)
		栗栖 佐和(和歌山県セーリング連盟)	4位(5点)
	シーホッパー級スモールリグ	多田 桃子(和歌山県セーリング連盟)	2位(21点)
少年男子	セーリングスピリッツ級	高山 大智(県立星林高等学校)	1位(8点)
		中野 翔太(県立星林高等学校)	1位(8点)
	シーホッパー級スモールリグ	矢野 伸一郎(県立和歌山工業高等学校)	

●カヌー競技

成年男子	カヌースプリント	カヤックシングル200m	宮田 悠佑(和歌山県教育センター学びの丘)	7位(2点)
	カヌースプリント	カヤックシングル500m	宮田 悠佑(和歌山県教育センター学びの丘)	2位(7点)
	カヌースプリント	カナディアンシングル200m	阪本 直也(和歌山県教育センター学びの丘)	4位(5点)
	カヌースプリント	カナディアンシングル500m	阪本 直也(和歌山県教育センター学びの丘)	7位(2点)
成年女子	カヌースプリント	カヤックシングル200m	西山 史扇(エバグリーン)	5位(4点)
	カヌースプリント	カヤックシングル500m	西山 史扇(エバグリーン)	6位(3点)
少年男子	カヌースプリント	カヤックペア200m	今村 啓志(県立田辺工業高等学校)	6位(9点)
			吉田 南翔(県立神島高等学校)	
	カヌースプリント	カヤックペア500m	今村 啓志(県立田辺工業高等学校)	7位(6点)
			吉田 南翔(県立神島高等学校)	

●レスリング競技

成年男子	グレコローマンスタイル75kg級	阪部 創(神奈川大学)	1位(8点)
	グレコローマンスタイル130kg級	谷田 昇大(株式会社ヤマヨテクスタイル)	3位(5.5点)

●テニス競技

成年男子	団体	長尾 克己(紀洋石油株式会社)	奥 大賢(紀洋石油株式会社)	1位(24点)
------	----	-----------------	----------------	---------

●体操競技

少年男子	団体	楠川 雄太(県立田辺工業高等学校)	山本 群(県立田辺工業高等学校)	
		古田 一馬(県立和歌山北高等学校)	佐々木 伶緒(県立田辺工業高等学校)	
		筒井 宏樹(県立田辺工業高等学校)		7位(10点)



●ボウリング競技			
成年女子	4人チーム戦	垣添 巳奈(堀川整骨院) 亀島 愛永(和歌山大学) 川口 茉紀(レンタルハウス株式会社) 根深 滯(和歌山県庁)	5位(12点)
●自転車競技			
成年男子	ポイントレース	窪木 一茂(和歌山県教育庁)	2位(7点)
	スプリント	橋本 凌甫(和歌山県教育庁)	2位(7点)
	ケイリン	岡本 隼(日本大学)	5位(4点)
少年男子	スプリント	布居 翼(県立和歌山北高等学校)	2位(7点)
	ケイリン	南 潤(県立和歌山北高等学校)	2位(7点)
男子	4km団体追抜競走	窪木 一茂(和歌山県教育庁) 和田 力(マトリックス) 岡本 隼(日本大学) 森口 寛己(日本大学)	2位(21点)
●ソフトテニス競技			
成年女子	団体	端地 まどか(きのくに信用金庫) 西村 美咲(きのくに信用金庫) 安川 真璃子(アキム株式会社) 藤崎 安葉(和歌山大学) 吉川 明見(きのくに信用金庫) 土井 さくら(きのくに信用金庫)	7位(10点)
●弓道競技			
成年女子	近的	石本 千夏(県立日高高等学校) 今井 梓(田辺市立中芳養小学校) 大庭 彩加(株式会社酒直)	7位(6点)
●フェンシング競技			
成年男子	サーブル	坪井 浩平(和歌山県庁那賀振興局) 松尾 優樹(和歌山県庁) 東 純平(和歌山県庁)	8位(3点)

※10月15日(水)17:00~10月17日(金)までの入賞者

選手・監督からのコメント

○中村和哉監督(セーリング競技:成年)

選手達は、持てる力を十分に発揮してくれ全種目(成年)で入賞し、総合優勝することができました。和歌山国体での連覇に向けて頑張ります。

○高橋航監督(セーリング競技:少年)

全種目(少年)入賞はかありませんでしたが、少年男子は1位と2位を取ってくれました。この総合優勝は来年に向けた1歩と考えていますので、連覇を目指し頑張ります。

○尾川 潤選手(セーリング競技:成年男子)

前日の4位から3位に順位を1つ挙げられたことがとても嬉しく思います。来年は優勝します。

○市野 直毅選手(セーリング競技:成年男子)

来年は優勝できるように取り組んでいきます。

○大矢 勇輝選手(セーリング競技:成年男子)

全力で頑張りました。楽しく競技ができてよかったです。

○宮川恵子選手(セーリング競技:成年女子)

2人で楽しくレースをすることができました。来年も必ず優勝します。

○栗栖 佐和選手(セーリング競技:成年女子)

目標の2連覇を達成することができて嬉しいです。3連覇目指して頑張ります。

○矢野 伸一郎選手(セーリング競技:少年男子)

自分の力をすべて出せたので、優勝できたと思います。良いレースが出来てよかったです。来年も優勝したいです。

○高山 大智選手(セーリング競技:少年男子)

途中のレースまでは良かったのですが、逆転されて負けてしまいました。来年こそは優勝します。

○中野 翔太選手(セーリング競技:少年男子)

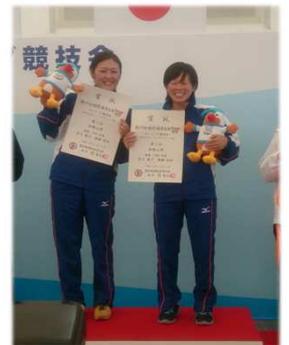
1日目は順調でしたが2日目が悪くなかったので、来年は全日程頑張りたいです。

○阪本 直也選手(カヌー競技:成年男子)

思うように実力が出せなかった、それだけです。来年は頑張ります。

○宮田 悠佑選手(カヌー競技:成年男子)

ベストの試合とそうでない試合の両方が出ました。どんなコンディションでも実力を出せるように力をつけていけば、来年の優勝に繋がるので、いろいろな課題を解決していきたいです。





選手・監督からのコメント

○西山 史扇選手(カヌー競技:成年女子)

2種目とも去年より1つ順位を落としてしまいましたが、新たな課題も見つかりました。目標は来年の優勝ただ一つなので、それに向けて頑張るだけです。

○今村 啓志選手(カヌー競技:少年男子)

今回の結果は去年より落ちましたが、2人で息を合わせて戦えたので悔いはありません。

○吉田 南翔選手(カヌー競技:少年男子)

目標より少し悪かったですが、力を出せたので良かったです。

○阪部 創選手(レスリング競技:成年男子)

自分のレスリングができ、優勝できたのでとてもうれしいです。和歌山国体でも優勝できるように、これまで以上に頑張っていきたいです。

○谷田 昇大選手(レスリング競技:成年男子)

優勝を目指していたので3位の結果は残念です。今回の反省を踏まえ、来年は優勝できるよう一歩ずつ進んでいきたいです。

○長尾 克己選手(テニス競技:成年男子)

今大会は優勝が目標で有言実行できて嬉しいです。最高のパートナーと一緒に戦えたことが優勝につながったと思います。和歌山国体でも連覇できるよう頑張ります。

○奥 大賢選手(テニス競技:成年男子)

今大会は本当に長尾選手に助けられました。和歌山国体ではもっと自分が活躍し、2連覇できるように頑張ります。

○楠川 雄太(体操競技:少年男子)

長崎国体で入賞するのがチームの目標だったので、すごく嬉しいです。試合の中で苦しい場面もありましたが、みんなでカバーしあいながらできたのが良かったと思います。1・2年生には和歌山国体でもがんばってもらいたいです。

○垣添 巳奈選手(ボウリング競技:成年女子)

今大会は男子が近畿ブロック大会で敗退したので、すごくプレッシャーがありました。その中で、多くの課題が見つかったので、来年に向けて1つずつ解決していきたいです。和歌山国体では、全種別全種目で入賞し、競技別総合優勝を目指します。

○上野 孝監督(自転車競技:少年男子)

総合優勝を目指していたので結果が出て大変うれしいです。途中、苦しい場面もありましたが、ひとりひとりが力を発揮してくれたので総合優勝することができました。和歌山国体でも優勝できるように頑張ります。

○窪木 一茂選手(自転車競技:成年男子)

負けて悔しいですし、力を残してしまったのでやるせない気持ちもありますが総合優勝できたので、とても嬉しいです。

○南 潤選手(自転車競技:少年男子)

今回ケイリンで2位でした。敗因は完全に力負けです。和歌山国体に向けて、自分の展開にもっていったときには、絶対に誰にも負けない脚をつくります。

○布居 翼選手(自転車競技:少年男子)

高校最後の大会で優勝出来そうな位置にいたので、絶対優勝するつもりで決勝に臨みましたが、2位という結果で本当に悔しいです。それでも、全員で総合優勝を勝ち取れたので嬉しいです。

○端地 まどか選手(ソフトテニス競技:成年女子)

準々決勝の岐阜戦で負けましたが、気持ちを切り替えて、残り2戦に挑みました。ラストは、地元の長崎と対戦し、アウェイの緊張感の中でしたが、勝つことができました。来年に向けて、とてもいい経験になったと思います。和歌山国体では優勝します。

○石本 千夏監督兼選手(弓道競技:成年女子)

皆様のお力添えや応援で、入賞することができました。決勝の空気を味わえた経験を、和歌山国体に活かせるよう頑張ります。

○坪井 浩平監督兼選手(フェンシング競技:成年男子)

8位に入賞することができましたが気持ちの切り替えができず順位決定戦で全て負けてしまいました。この反省を活かし、和歌山国体で優勝できるように頑張ります。

